

小学校における節電に関する授業計画

2011年7月4日

監修 全国小中学校環境教育研究会

学習内容

具体的な15%節電方法を知り、日常生活に生かせる節電を計画する。

学習の目標

1. 夏期の電力需給に大きなギャップが生じていることと、そのために15%の節電が必要なことを理解することができる。
2. 15%分の節電とは、どの電気器具をどのように使うことか知る。
3. グループやクラスで節電方法を話しあい、他者の意見から学ぶことで考えがより深めて、意欲的に節電を実践することができる。

学習展開（全2時間）

時数	学習活動	◇指導上の留意点、◆評価
1時	<p>○今までの停電や節電の体験を振り返る</p> <p>○今夏の節電の社会的な背景や意義を学習する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地震で発電所が被災し、夏の昼間には電気が足りなくなるが、皆で15%の節電をすれば、計画停電を避けることができるとともに、東北地方にも電気を送ることができること等を学ぶ。 <p>○モデル家庭を例に、自分で家庭の節電方法を検討する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートをもとに作業し、15%の節電は、どの家電製品をどれぐらい使うことで達成されるのか知る。 ・政府の節電要請時間帯は9時から20時であるが、自分の家庭での生活を振り返るという観点から、帰宅後から就寝までを念 	<p>◇学習にあたり、資料「この夏の節電活動を通じて学ぶこと」を使用</p> <p>◆今夏の節電については、省エネ・環境活動といった中長期的な問題に加えて、社会的に電力需要を抑えることが短期的にも重要であることを理解する。</p> <p>◇検討にあたり、資料「わが家の節電ワークシート」を使用</p> <p>◇節電目標を15%前後とし、過剰な節電ではなく、現実的な方法で節電することを目標とする。</p> <p>◆家電製品によって使用時間が異なることや、優先順位があり得ること、家族の誰が使うかも異なることを理</p>

時数	学習活動	◇指導上の留意点, ◆評価
	頭に 15 時から 22 時までの節電方法を個人で検討する。	解する。
2 時	<p>○<u>グループ（4～5 人）に分かれて節電方法を発表し合う。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人の発表をうけて、グループとしての「ベスト節電計画」をまとめる。 <p>○<u>グループごとに節電方法を発表する</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・どのように、どうしてその節電方法を採用したのか ・節電量がどのくらいになったか 等 <p>○<u>今夏に家庭で取り組む節電方法を各自で検討する</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・各家庭で保有する家電製品や、家族構成、既に実施している節電対策が異なるため、各自で「マイベスト節電計画」をつくる。 	<p>◇節電方法に無理がないか、簡単な節電方法を見落としてないか、グループで話し合う</p> <p>◆人によって電気の使い方や考え方が異なることを理解する。</p> <p>◆クラス全体で節電方法を共有すると、個人やグループで検討するよりも、さらに充実することを理解する</p> <p>◇節電の際には、ご老人、乳幼児、病気の方などに特に配慮することを周知する</p> <p>◇節電にも家族の理解と協力も必要であることも理解する</p> <p>◇節電量を数値として把握することが困難な場合が多いので、定性的な行動を中心に検討する</p> <p>◆各家庭の事情に即した現実味のある節電方法を検討する</p>